



湖西市

住吉東地区防災計画

令和8年2月策定

津波から命を守る避難訓練の実施
～自分と大切な人を守る力を育む～

- 目 次 -

1. 計画の対象地区の範囲・計画の策定主体	1
2. 基本的な考え方	2
(1) 基本方針（目的）	
(2) 活動目標	
(3) 活動計画（年間）	
3. 地区の特性	3
(1) 自然特性	
(2) 社会特性	
(3) 災害特性	
①地震（a. 震度分布、b. 液状化、c. 津波被害）	
②土砂災害	
③水害（河川氾濫）	
(4) 防災マップ	
4. 防災活動の内容	10
(1) 防災活動の体制	
(2) 平常時の活動	
(3) 発災直前の活動（水害時のみ）	
(4) 災害時の活動	
(5) 復旧・復興期の活動	
(6) 市、消防団、各種地域団体等との連携	
5. 実践と検証	13
(1) 防災訓練の実施・検証	
(2) 防災意識の普及啓発	
(3) 計画の見直し	
6. 意見交換会の概要	14

2. 基本的な考え方

(1) 基本方針（目的）

- ・ 津波から命を守る避難訓練の実施 ～自分と大切な人を守る力を育む～

(2) 活動目標

- ・ 津波到達時間までに確実な避難ができるような訓練を継続実施「いざという時、命を守る行動を身につける」
- ・ 地域住民に訓練に参加してもらい「住民相互で大規模地震に対する自助・共助の重要性の認識を深める」
- ・ 若い世代が訓練に参加してもらえるような工夫の実施
- ・ 地域住民が避難経路のリスクを認識し、複数の経路を想定しておく
- ・ 地域住民の防災意識醸成と共助の関係性を広げる
- ・ 要配慮者（高齢者や障がい者等）に対する避難支援の検討
- ・ 外国籍の方の防災訓練への参加促進を図る

(3) 活動計画（年間）

- ・ 年3回防災訓練を実施する
 - 総合防災訓練：9月1日（防災の日）
【実施内容】津波避難訓練、炊き出し、救命救急訓練 など
※令和7年度はペット同行避難に関する講習を実施
 - 地域防災訓練：12月第1日曜日（静岡県・地域防災の日）
【実施内容】津波避難訓練、炊き出し、仮設トイレの組み立て など
 - 夜間防災訓練：3月11日（東日本大震災発生日）
【実施内容】津波避難訓練 など

3. 地区の特性

(1) 自然特性

- ・ 高低差の少ない平地、大きな河川や山は無く、洪水や土砂災害のリスクはない
- ・ 砂地盤で液状化危険度が高く、地震時は道路に段差が発生したり、電柱や街灯が傾き、倒壊したりする等、道路が通行しにくい状況が発生する可能性がある

(2) 社会特性

- ・ 高齢化が進行し、空き家も少しずつ増加している
- ・ 近年は外国籍の若い世帯の流入が見られる

(3) 災害特性

- ・ 詳細は「湖西市津波防災地域づくり推進計画」で確認
※市ウェブサイト公開

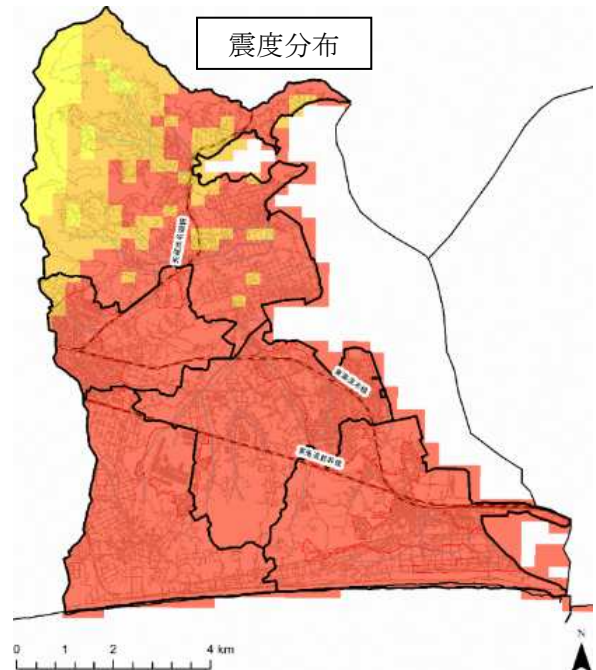
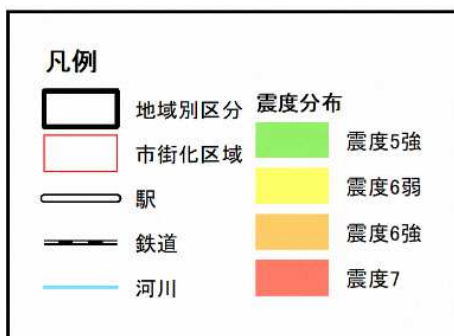


◀詳しく
はこちら

①地震

a. 震度分布

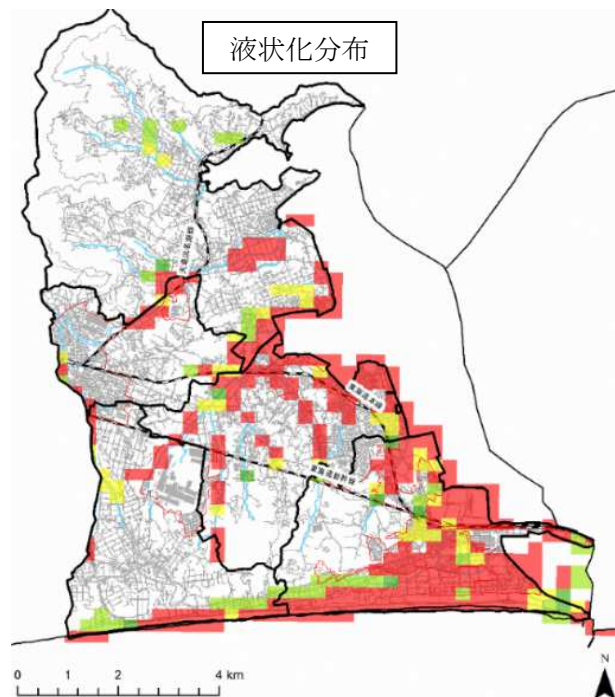
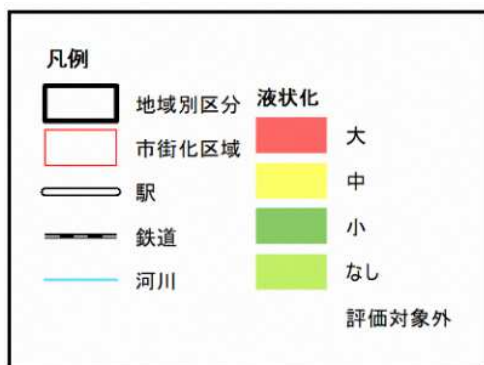
本市では広い範囲で震度7の揺れが想定される



出典：国土数値情報、市データ

b. 液状化

地区の液状化の可能性は「大」



出典：国土数値情報、市データ

c. 津波被害

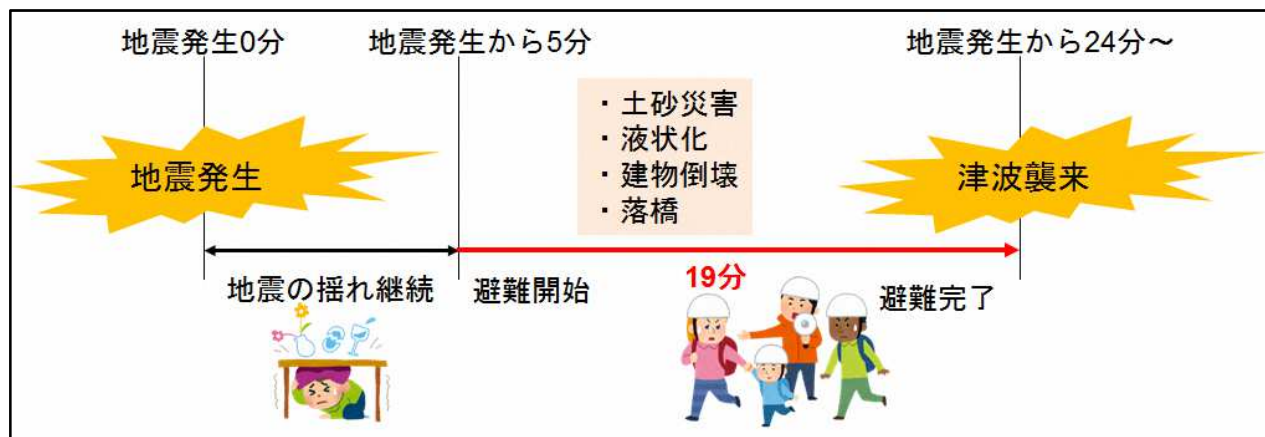
・南海トラフ巨大地震による津波被害①（湖西市津波防災地域づくり推進計画から抜粋）

駿河湾から遠州灘にかけて、沿岸地域で地震による隆起で津波が発生し、湖西の海岸に短い時間で津波が到達します。津波到達時間として、地震発生後 24 分で沿岸部の既存堤防・バイパスを越えると想定され、地震発生から 5 分ほど揺れが継続するため、19 分間で避難を完了する必要があります。

本市沿岸の津波の到達最短時間（上段：沿岸津波高、下段：到達時間）

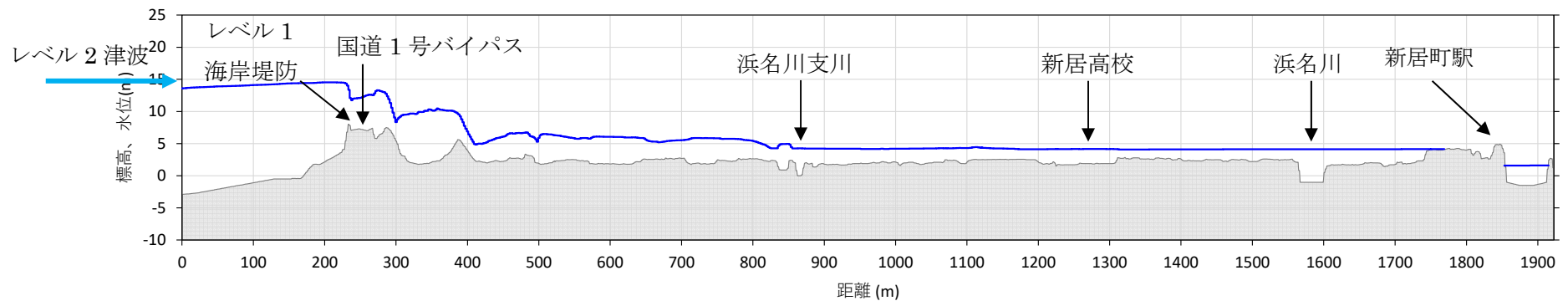
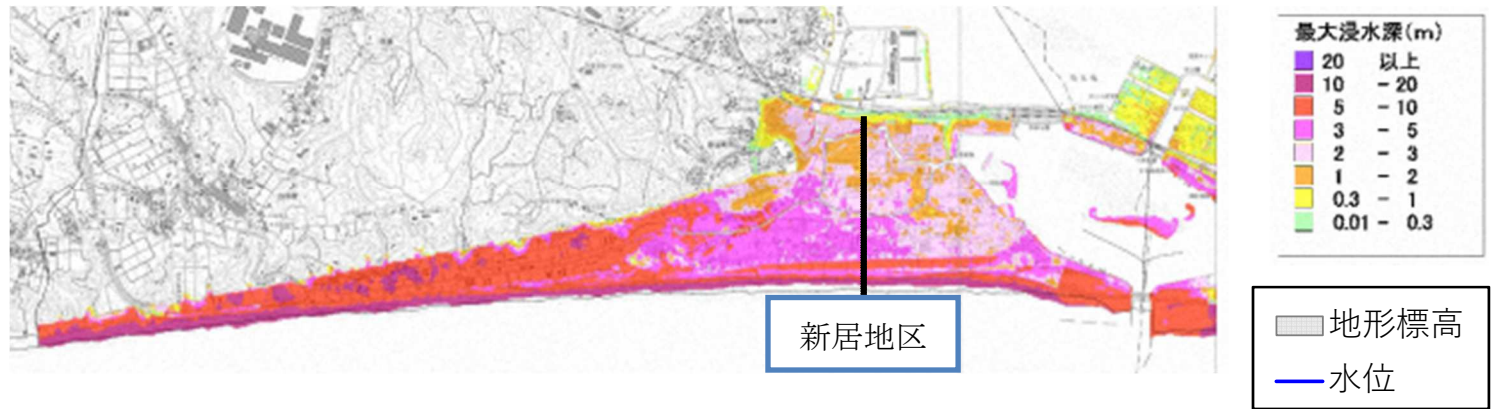
+ 50 cm	+ 1m	+ 3m	+ 5m	+ 10m (堤防越流)	+ 15m (最大津波)
7 分	9 分	13 分	23 分	24 分	28 分

出典：静岡県第 4 次地震被害想定（第一次報告）（平成 25 年 6 月）



■ 南海トラフ巨大地震による津波被害②（湖西市津波防災地域づくり推進計画から抜粋）

静岡県第4次地震被害想定津波シミュレーション結果では、本市におけるレベル1津波は最大7m、レベル2津波は最大15mと想定されています。遠州灘からレベル1海岸堤防を乗り越えて市街地側に進入したレベル2津波は、新居地区においては標高の低い土地に海水が滞留し長期間浸水が継続するなどの特徴があります



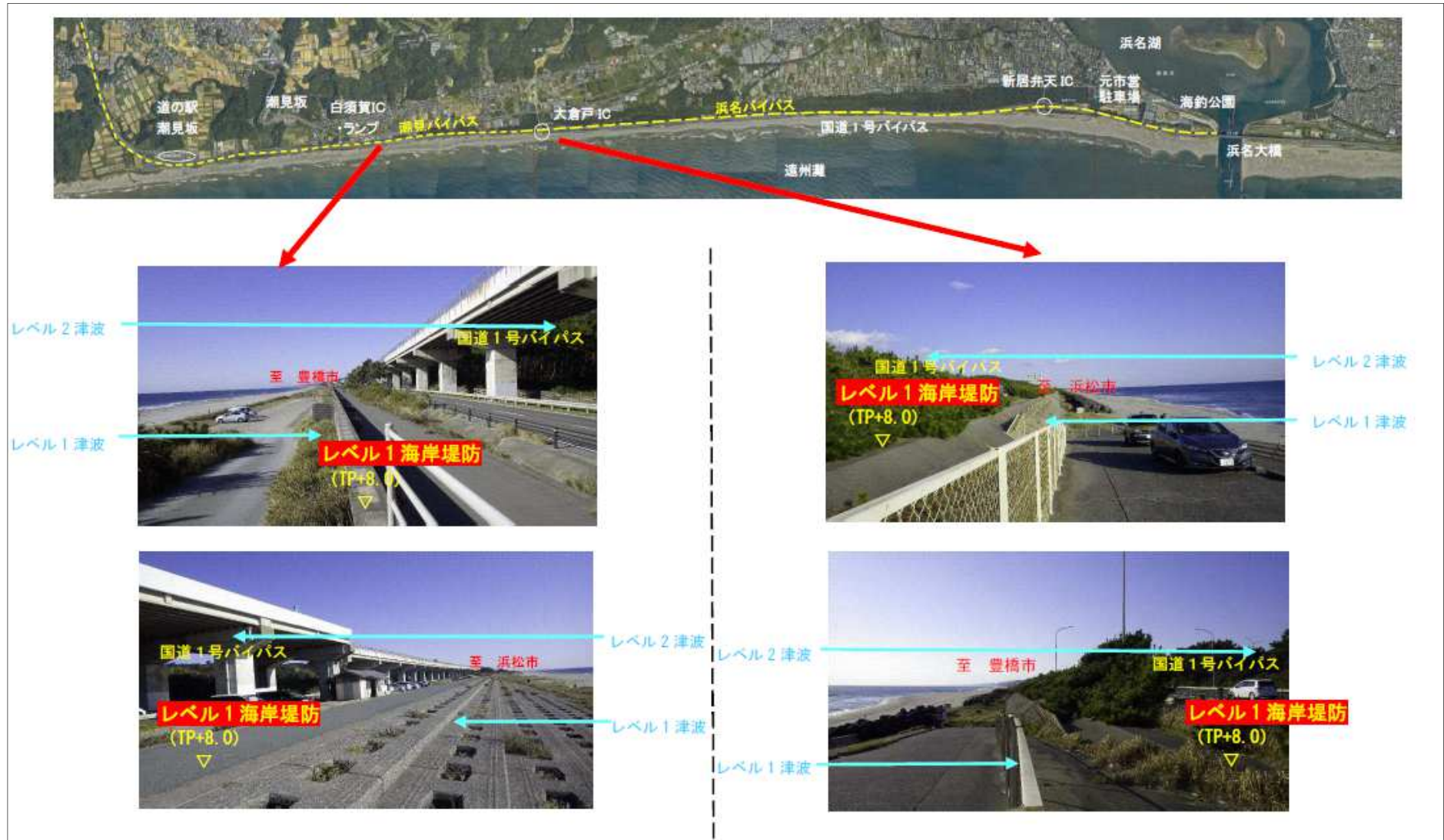
レベル2津波による湖西市沿岸域（新居地区）の浸水状況断面図

■ 本市沿岸域の現状①（出典：湖西市津波防災地域づくり推進計画）

沿岸域の現状は、海岸（浜名港海岸新居地区・新居海岸・湖西海岸）と海岸防災林（保安林）の間に国道1号バイパス（浜名バイパス・潮見バイパス）が整備されています。沿岸域において、既に国道1号バイパス海側に**レベル1津波に対する海岸堤防が整備済み（TP+8.0）**ですが、レベル2津波は、国道1号バイパスを乗り越えるほか、バイパス高架区間を通り抜けて、市街地側に侵入します。

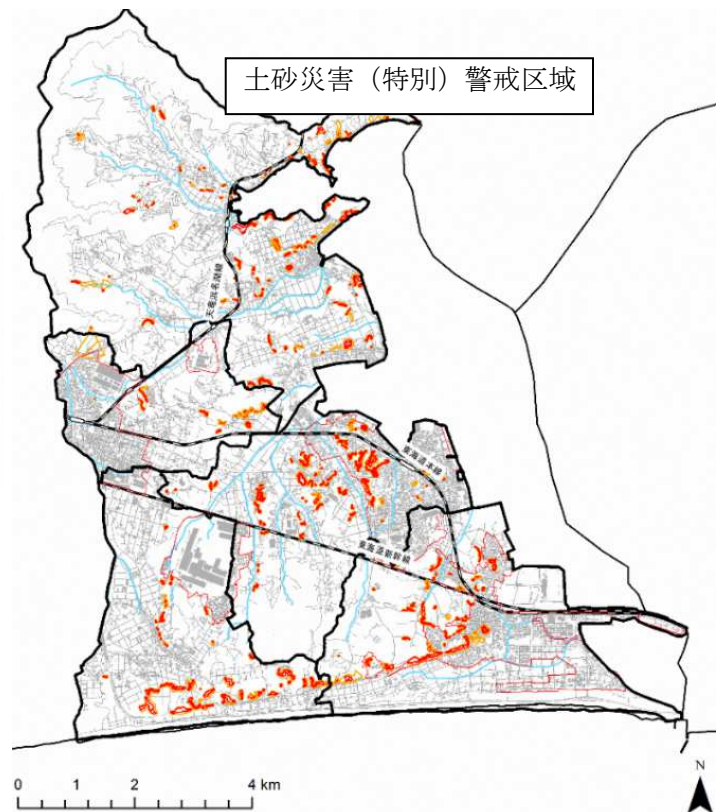
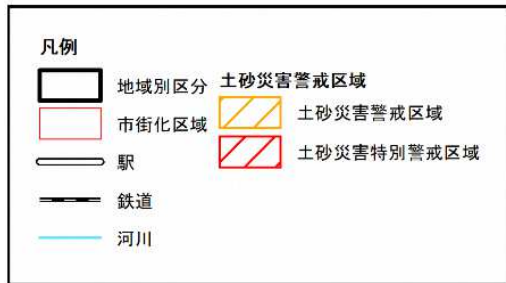
防潮堤位置	白須賀地区	新居地区
全体図		
現状	<p>【海側】</p> <p>【陸側】</p>	<p>【海側】</p> <p>【陸側】</p>
写真		

■ 本市沿岸域の現状②（出典：湖西市津波防災地域づくり推進計画）



②土砂災害

地区内に土砂災害警戒区域はない。



出典：国土数値情報、市データ

③水害（河川氾濫）

準用河川である「浜名川支川」が地区の北部に流れている。



出典：湖西市地域防災計画

(4) 防災マップ

- ・ 指定避難所：新居小学校
- ・ 津波避難施設：特別養護老人ホーム燦光、住吉地区命山
紀和産業、汐見製作所

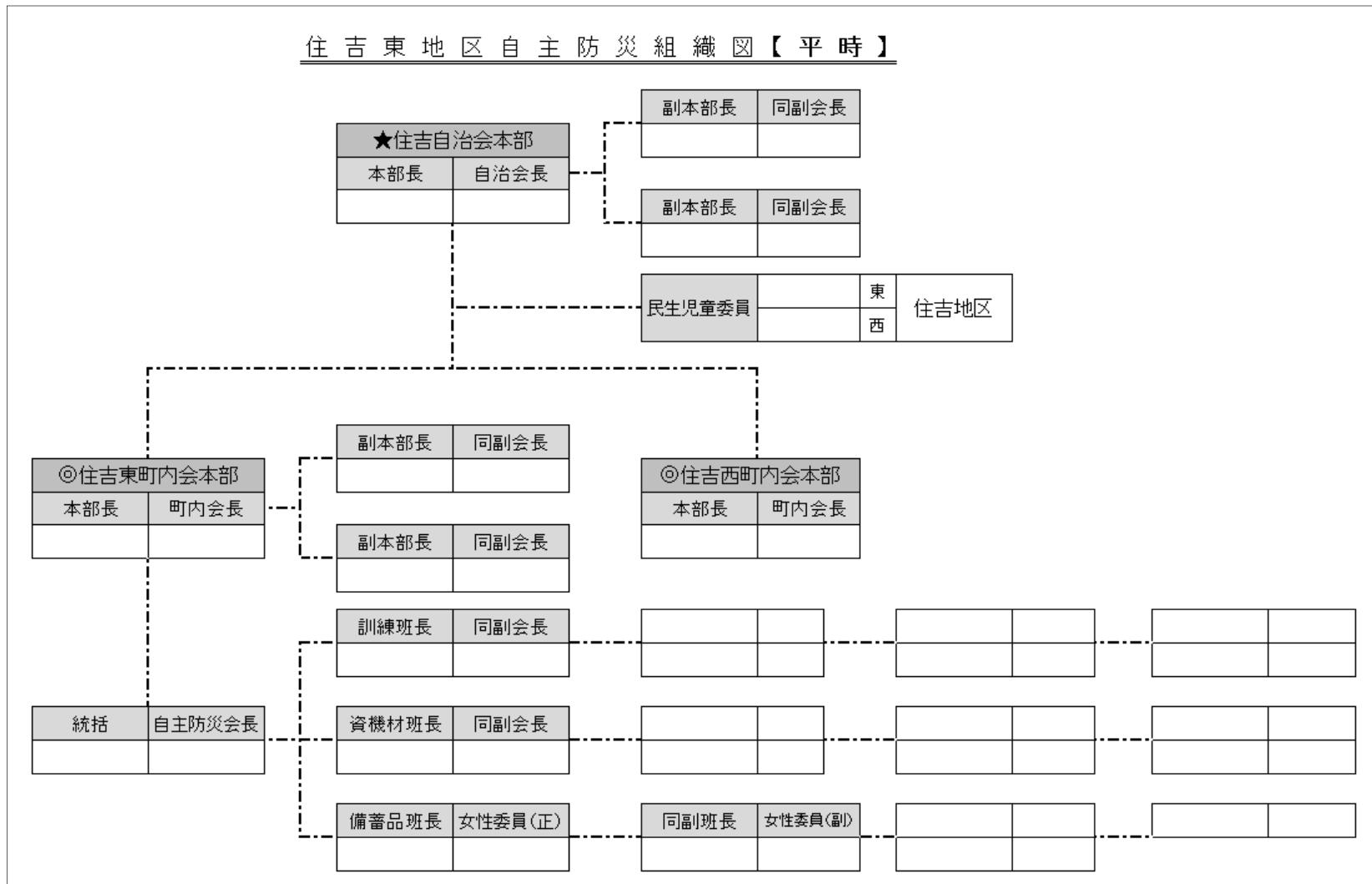


出典：湖西市ハザードマップ

4. 防災活動の内容

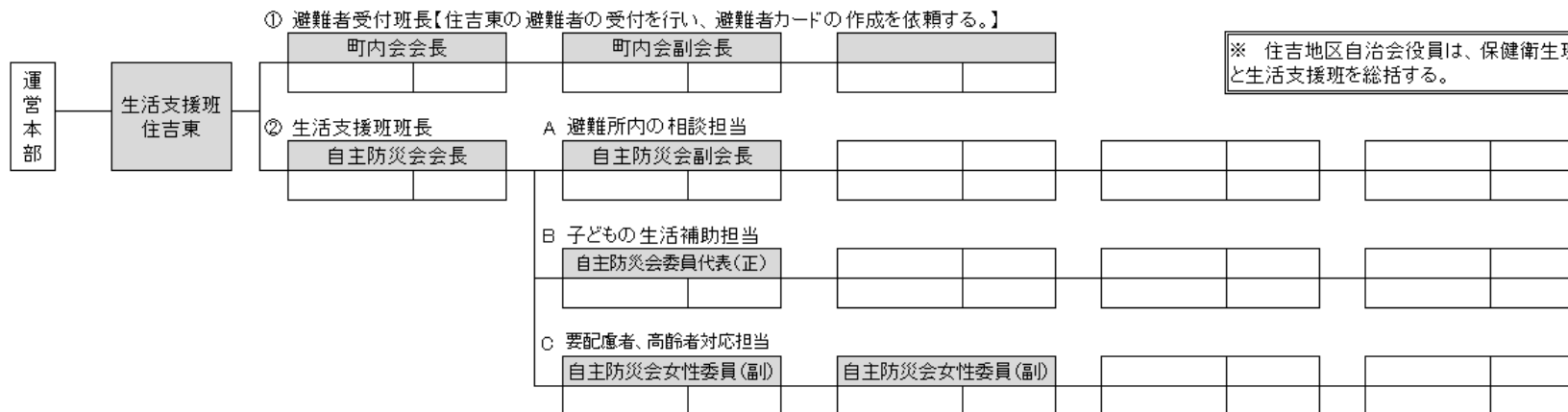
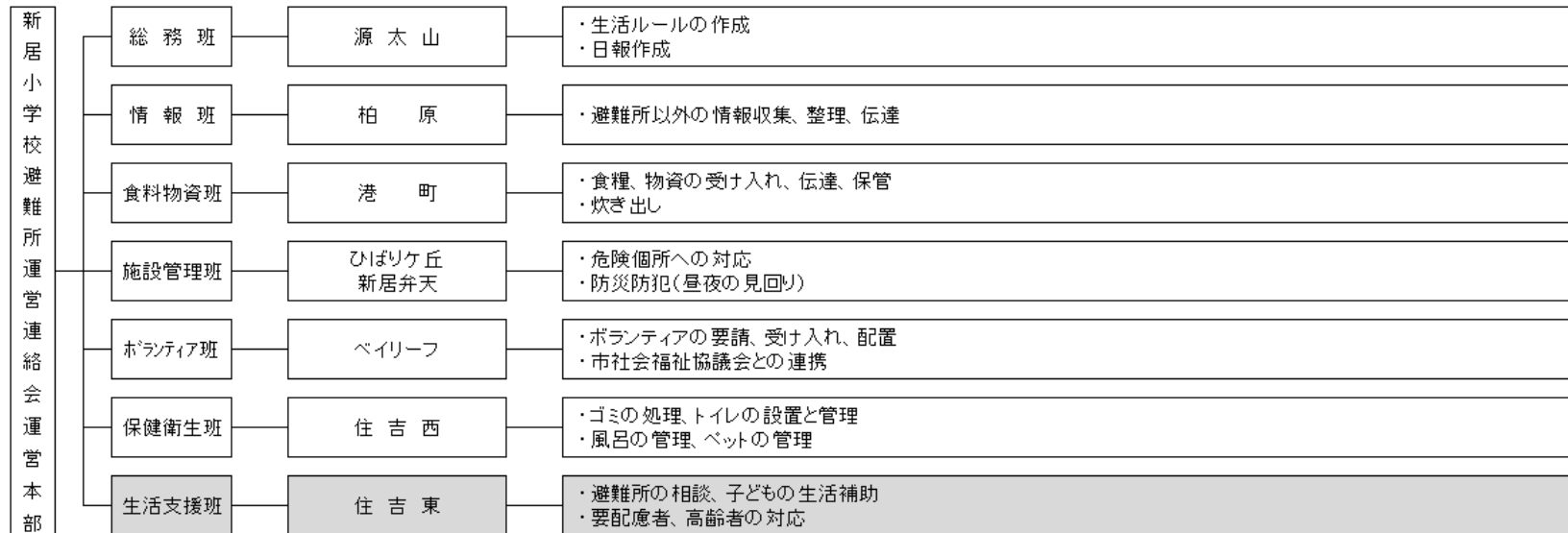
(1) 防災活動の体制（令和7年11月末現在）

<平常時>



<災害発生時>

住吉東自主防災会 組織図【被災時】



※ 支援員には、前年度自主防災会会長及び女性防災委員(正並びに経験者)に協力を依頼する。

(2) 平常時の活動

<自助に関する活動>

- ・ 自宅の耐震化や家具固定など、家庭内における危険個所の確認と改善
- ・ 食料・飲料水、簡易トイレ等の日用品の備蓄 (※1週間分が望ましい)
- ・ 非常持ち出し品の用意
- ・ 津波避難場所・指定避難所の位置と経路の確認
- ・ 避難経路の閉塞を考慮し、津波避難場所まで複数の避難経路を検討
- ・ 家族同士の安否確認方法の決定・共有
- ・ 情報収集と通信手段確保 など

<共助に関する活動>

- ・ 自主防災組織における防災活動体制作り
- ・ 要配慮者（高齢者や障がい者）に関する情報収集と避難支援の検討
- ・ 地域における防災人材の育成（若い世代の参加を促進）
- ・ 地域住民への防災情報の周知
- ・ 津波避難訓練の継続的な実施
- ・ 防災倉庫の整備・管理、備蓄品の充実
- ・ 災害時の危険箇所の点検、指定避難所・避難経路等の確認 など

(3) 発災直前の活動（水害時のみ）

- ・ 災害種別や警報、避難情報の度合によって、どのような動きをするべきか事前に確認・想定しておく

(4) 災害時の活動

<住民の避難行動の流れ>

- ・ 強い揺れが収まったらすぐに避難（強い揺れを感じなくても「津波注意報」や「津波警報」、「大津波警報」が発表されたら避難）

(自分自身の安全確保)

- ・ 同報無線、防災ほっとメール、テレビ、スマホ等で正確な災害情報を入手

(近隣の安全確認)

- ・ 自らの命を最優先に隣家への声掛け（特に要配慮者（高齢者、障がい者等））

(津波避難場所に避難)

- ・ 非常持ち出し袋を持って津波避難場所に避難
※避難に支障が少なそうな避難経路をあらかじめ複数想定

(安否確認)

- ・ 家族、地域住民の安否確認

(5) 復旧・復興期の活動

- ・ 避難所運営を他地区と共に協力して行う。
- ・ 被災状況によっては、長期に渡る避難所生活が強いられる場合がある。炊き出しや支援物資の運搬など、地域で協力して復旧・復興に向けた活動を行う。

(6) 市、消防団、各種地域団体等との連携

- ・ 市の関係部署、消防団、各種地域団体等との連携・協力は重要になるため、事前の関係構築に努める。
- ・ 地区内で、協力や活躍の期待される事業者がいないか確認する。

5. 実践と検証

(1) 防災訓練の実施・検証

- ・ 現状の避難訓練等を継続的に実施し、今後、本計画の内容を実行するためにどのような改善や新たな取組が必要となるか検討する。

(2) 防災意識の普及啓発

- ・ 防災を考える上で、自助としての個人の備えが重要となるため、地域住民の防災意識の普及啓発に努め、地域でできることを話し合う。

(3) 計画の見直し

- ・ 計画は作成するだけでなく、定期的に見直すことが重要。年に1回を目安に計画の内容を見直す。

6. 意見交換会の概要

意見交換会の実施 令和7年8月24日（日）

地域防災指導員による防災出前講座を活用した意見交換会を開催。南海トラフ地震の概要や湖西市の被害想定、自主防災組織の役割を理解していただいた上で、DIG（災害図上訓練）を実施。

地区における防災上の強み・弱みについて考えていただき、その課題に対して共助（地域の助け合い）として何ができるかグループワーク形式で意見を出し合いました。



意見交換会（住吉公民館）

<地域防災指導員による防災出前講座>

住吉東自主防災会

防災出前講座

1. 地区防災計画策定について
2. 災害図上訓練DIG

令和7年8月24日 湖西市地域防災指導員連絡会



<出前講座の内容②>

地図への書き込み STEP2

《 地域で予想される被害を知る地図の作成 》

「ハザードマップ・液状化分布図の情報より」

- 津波の危険予想地域 薄青で網掛け
- がけ崩れの危険予想地域 オレンジで網掛け
- 液状化が予想される地域 ピンクで網掛け

地図への書き込み STEP3

《 災害時危険と想定される地図の作成 》

- 災害により使用できない恐れのある道路・橋 黒×印
- 延焼火災の危険予想地域 赤色で網掛け
- 孤立が予想される地域 黄色で網掛け
- 被害を受ける恐れのある建物（空家等） 赤色のドットシール大
- 危険が予想される場所・施設
又は自販機・ブロック塀等 ピンクのドットシール大小

※ 特に、地元民だからこそわかる危険箇所を重点的に
※ どんな危険や課題があるかを付箋でメモ

地図への書き込み STEP4

《 災害発生時に役立つ地図の作成 》

- 役所・公民館・消防署・警察署「防災倉庫・機材倉庫」
- 津波避難ビル・タワー・命山
- 避難所
- 防火水槽「消火栓」
- ガソリンスタンド
- 病院・救護所
- 食料品店
(スーパー・コンビニ等)
- その他必要なコメントは付箋へ記入して貼り付ける

グループ討論

地域特性の把握

- ①地区で予想される災害
- ②地区の強み、弱み
- ③防災上の課題
- ④共助として何ができるか

を、できるだけ

- ・数多く
- ・具体的に
- ・箇条書きで

➡ ふりかえりシートにまとめる

約束ごと：
 ・他人の意見を批判しない
 ・質より量
 ・意見のタダ乗りOK

<グループ①>



大地震が発生した時にどんな被害が想定されますか？

- ・津波、液状化、火災
- ・橋の倒壊により避難が困難になる
- ・川の氾濫により避難が困難になる
- ・避難場所の周辺に工場があり、火災の危険性がある
- ・津波で浸水した場合、食料の調達が困難になる

地区特有の強み、弱みはそれぞれ何がありますか？

(強み)

- ・地域に長く住んでいる高齢者が多いので、地域のことを分かっていて周囲（近所）のことを気に掛けることができる
- ・土砂災害警戒区域がないので、土砂災害の危険性がない

(弱み)

- ・橋の崩壊や川の氾濫が起きて避難できない可能性がある
- ・避難場所が津波で浸水しないか不安、地震による液状化の危険性がある

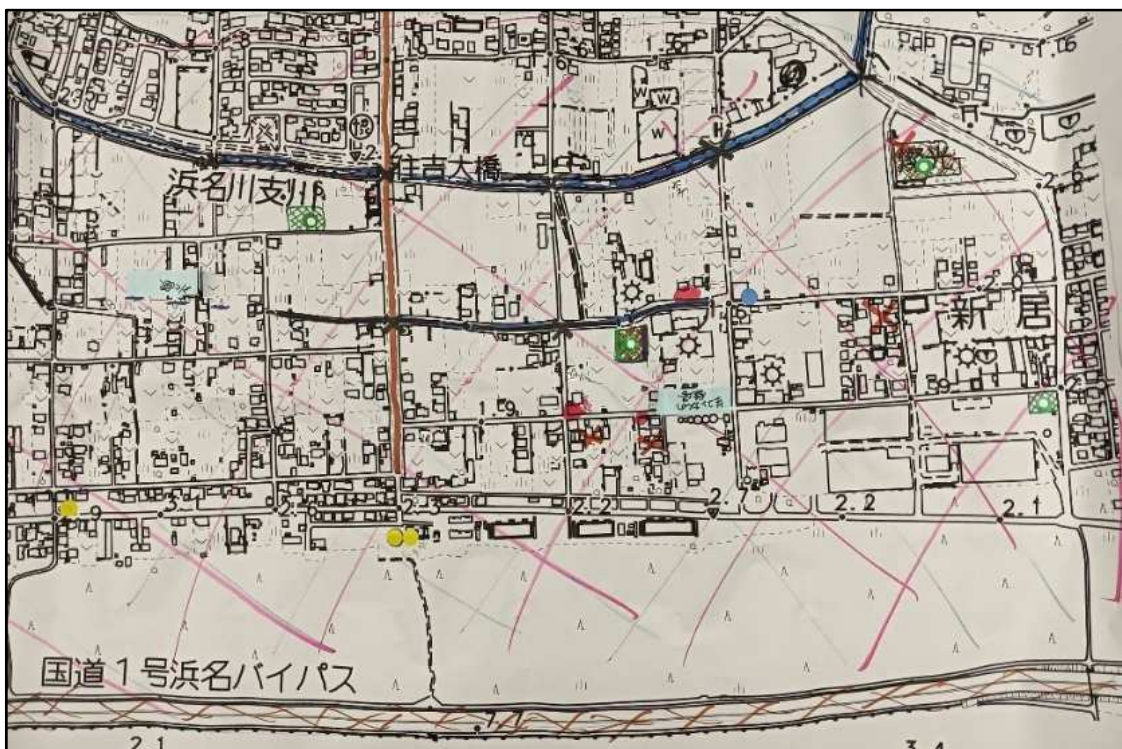
それらに対する防災上の課題は何ですか？

- ・避難場所・避難所までの避難ルートの事前確認が必要（橋や川の位置）
- ・避難場所周辺に工場があり火災の可能性があるので、他の避難場所を想定する
- ・想定している避難場所までが比較的距離がある

課題に対して、共助として何ができますか？

- ・周り近所の方と安全確認ができるよう、事前に住んでいる場所を確認しておく
- ・若い学生たちに地域の災害特性を勉強してもらえらるような機会を設ける

<p>① 大地震が発生した時にどんな被害が想定されますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波 ・液状化 ・火災 ・いすか崩落 → 避難場所をなくす ・川がはなれ → ? ・避難場所の周辺に工場あり、火災の危険性あり。 ・食料や水道で困る場所あり 	<p>② 地区固有の強み、弱みはそれぞれ何がありますか？</p> <p>【強み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に長く住んでいる方が多いので、周囲のことはよく知っている ・土砂災害はない <p>【弱み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭い道あり、崩落やいすか起ると避難できなくなる可能性がある ・避難場所が津波浸水、液状化の危険性あり
<p>③ それらに対する防災上の課題はなんですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所までのルートが事前に確認しておく(橋、川の周辺) ・避難場所周辺に火災の危険性があるため、他に新しく作る。 ・避難場所まで遠い 	<p>④ 課題に対して、共助として何ができますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風や地震が確認できたら事前に住んでいる場所を避難場所として、こまめに確認しておく。 ・住んでいる学生達に地域のことを知らせ、危険を知らせ、町内会などの場を設ける。



<グループ②>



大地震が発生した時にどんな被害が想定されますか？
<ul style="list-style-type: none"> ・ 津波、液状化、橋の倒壊、自販機の倒壊 ・ 火災、地震による転倒での怪我 ・ 危険物の流出、電柱倒壊 ・ ガスボンベ（プロパンガス）、水道管の破裂
地区特有の強み、弱みはそれぞれ何がありますか？
<p>(強み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土砂災害警戒区域がない ・ 地域の横のつながりが強い <p>(弱み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単身の方が多地域は横のつながりが弱い ・ 海に近いため津波や液状化のリスクが高い ・ 高齢化が進んでいる
それらに対する防災上の課題は何ですか？
<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難場所・避難所へのルート確保が困難になる可能性※家屋倒壊や道路状況により通行不可になる ・ 備蓄品の保管場所が足りていない ・ 避難場所の設備・備蓄品が整備されていない（飲料水、寒さ・暑さ対策グッズ、トイレ対策など） ・ 外国籍の方の理解や対応（言葉の壁がありコミュニケーションが困難）
課題に対して、共助として何ができますか？
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民の互いに声掛け、助け合い、協力 ・ 逃げる際の声掛け（避難行動要支援者）・戸締り ・ 外国籍の方の対応を地域で検討するなど互いに理解を深める

① 大地震が発生した時にどんな被害が想定されますか？

津波・液状化 橋倒 樹木倒 火災 車倒
 危険物保管場所から流出 電柱倒 ガス配管倒
 水道管の破裂

② 地区固有の強み、弱みはそれぞれ何がありますか？

【強み】

がけ崩れが無
 個宅1軒単の棟のつながりあり
 集宅(雑居)の棟のつながりあり

【弱み】

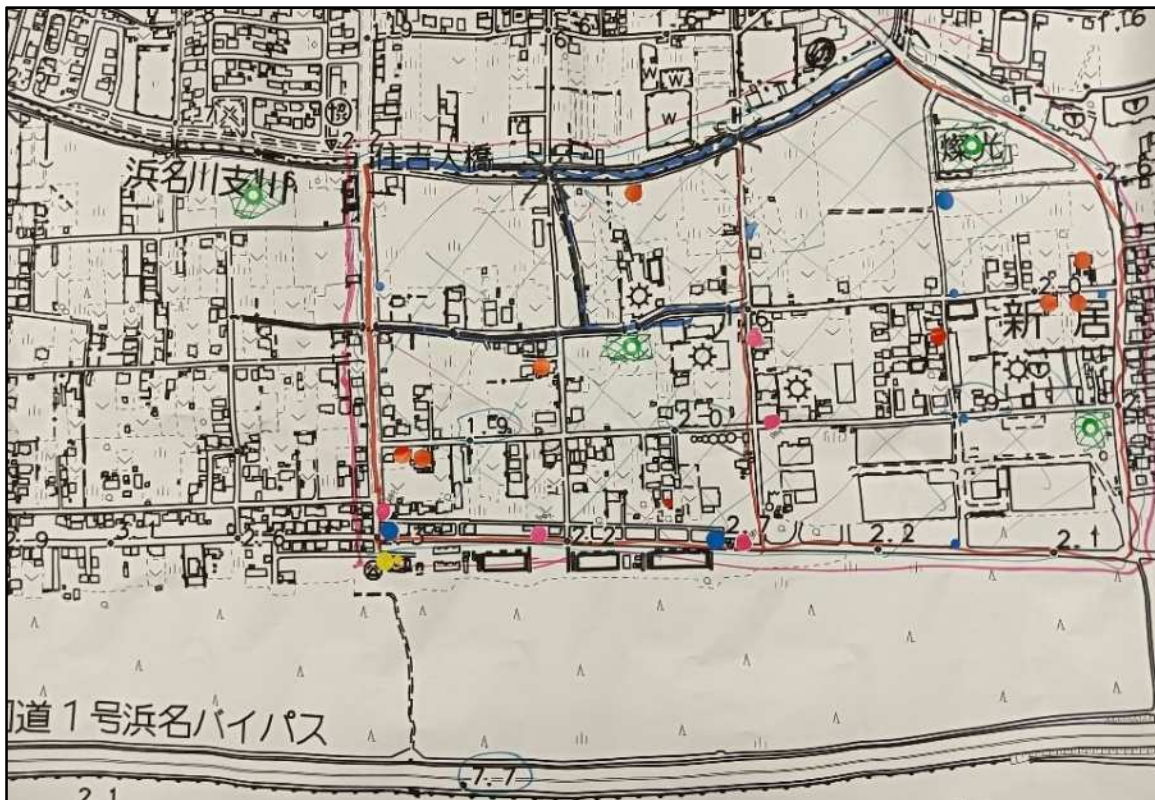
海に近いため水害が多い
 高齢化が進んでいる

③ それらの対する防災上の課題はなんですか？

避難場所の確保 避難経路の確保 (通行不可の場合)
 備蓄品の保管場所が無
 避難場所の確保 設備が弱 (水・電・ガス・通信
 熱電)
 外部との連携・対応 (避難)

④ 課題に対して、共助として何ができますか？

互いに声掛け合、助け合、協力
 世帯ごとの家の戸締り
 外部との連携・対応(避難)の確保と理解



<グループ③>



大地震が発生した時にどんな被害が想定されますか？
<ul style="list-style-type: none"> ・ 津波（海岸から 400m） ・ 外国籍の方の災害に関する意識（理解）の低さ ・ 地域のつながりが希薄になって共助が機能しない可能性 ・ 防災倉庫の設置場所が沿岸に近いので、浸水したら使用不可
地区特有の強み、弱みはそれぞれ何がありますか？
<p>（強み）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海に近い（マリンスポーツ、釣り） <p>（弱み）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海に近い（津波被害）、高齢化の進行、地域の繋がりが希薄
それらに対する防災上の課題は何ですか？
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地震による橋の倒壊（避難経路が塞がれる可能性） ・ 避難場所・避難所への避難経路の確保が困難 ・ 避難場所の備蓄、トイレ確保 ・ 外国籍の方への周知（防災意識の向上） ・ 独居高齢者（避難行動要支援者）の避難支援 ・ 避難場所における飲料水の確保
課題に対して、共助として何ができますか？
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日頃からの隣近所（向こう 3 軒両隣り）のコミュニケーション・挨拶 ・ 市（危機管理課）などとの防災課題について話合いが重要 ・ 中高生の若い世代の力に期待 ・ 避難場所における必要最低限の防災備蓄

① 大地震が発生した時にどんな被害が想定されますか？

- 津波 海岸に400m弱
- 命山の高土
- バイパスの高土
- 外国人の認知度の低下
- 地域のつながりまじく
- 防災倉庫が海に近い

② 地区固有の強み、弱みはそれぞれ何がありますか？

- 【強み】
- 海に近い (マリスタ、マリ)
- 【弱み】
- 海に近い (津波)
 - 高橋化
 - 地域のつながりまじく

③ それらの対する防災上の課題はなんですか？

- 橋の強度 (避難経路)
- 避難所への経路確保
- 避難場所の準備、トイレ確保
- 外国人への告知
- 高齢者、ひとり住
- 水の確保

④ 課題に対して、共助として何ができますか？

向こう三軒両辺となりとコミュニケーション
あいつ

市役所などの公共団体
との課題についての話し合い
が大事

中高生の協力期待

避難場所には最少限度の防災用品
を設置する必要がある



住吉東地区防災計画

令和 8 年 2 月策定

住吉東自主防災会